

## 脳神経外科のご案内

今号では、今年4月1日より当院、副院長に就任された山内医師にインタビューをしました。山内医師が担当されている当院、脳神経外科は、脳卒中などの脳血管障害、脊椎脊髄疾患（頰椎症、腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症など）、正常圧水頭症、脳腫瘍、頭部外傷、顔面痙攣、三叉神経痛などに対応すべく、全医師が脳神経外科専門医を取得し、より高度の専門分野に対応できるよう、資格（脳卒中専門医、脳血管内治療専門医、脊髄外科専門医）を持つスタッフが、救急からリハビリテーション、慢性管理まで一貫して専門的に診ることを目的として運営しています。

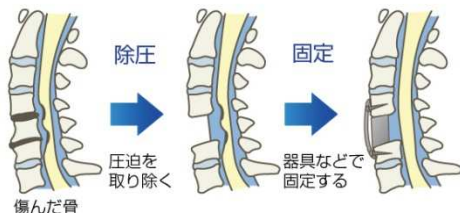
### 山内達也先生にインタビュー

#### Q：脳神経外科医を志したきっかけは

当時、一番繊細な顕微鏡下手術を行いたいと考えていました。現在は脊椎手術を得意としています。背骨だけでなく周囲の組織にも配慮し、患者の安全を最優先にしています。当院では回復期リハビリ病棟があり回復をサポートする環境が整っている為、手術後のケアも充実しています。



脳神経外科 左：樋口医師 右：山内医師



頸椎手術の解説イラスト

#### Q：汐田総合病院の脳神経外科のやりがい

当科では脊椎疾患を専門とする脊椎専門外来を行っています。外来に受診された方が、手術を行いリハビリに励み、歩いて帰る姿を見た時に大きなやりがいを感じます。

#### Q：汐田総合病院の魅力は

私自身も含め、長期にわたって勤務しているスタッフが多く、安定感のある医療サービスが提供できます。職員同士の協力関係が築かれており、チームワークが非常に高いです。緊急時にも迅速で柔軟な対応ができる体制が整っています。

#### Q：医師として大事にしている事

座右の銘が「ハーフスイングは塁審に聞け」です。チーム医療の要として医師の判断は重要であり医師がリーダーシップを発揮する必要がありますが、私は常にメディカルチームの視点も尊重し、異なる角度から状況を見るよう努めています。常に的確な判断ができるようチーム全体の意見を考慮することを大切にしています。

#### Q：プライベートで夢中になっているものがあれば

毎朝の犬の散歩です。散歩仲間やご近所と繋がることのできるの楽しく続けています。

